

令和 6 年 2 月 21 日

交通事故概況

令和 6 年 1 月末計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

北海道の交通事故概況（1月末計上数（確定数））

1 令和6年1月末の交通事故発生状況

区分\内容	1月末	前年比
発生件数（件）	804	36
死者数（人）	6	-7
傷者数（人）	977	64

[過去10年、1月末の推移]

区分\年別	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	過去平均		R6年
											10か年	5か年	
1月中死者数	9	8	9	6	17	5	7	8	7	13	9	8	6
年間死者数	169	177	158	148	141	152	144	120	115	131	151	134	

都道府県別（1月末）

順位	1	2	3	4			12
都道府県名	兵庫	福岡	東京	愛媛	愛知	千葉	北海道
死者数	16	13	12	10			6

2 交通死亡事故の発生状況

(1) 1月末の死亡事故（死者数6人）

○ 事故類型別：

- ・人対車両が2人33.3%（うち前方不注意が1人50.0%、安義その他が各々1人50.0%）
- ・正面衝突が2人33.3%（うち過労運転による死者が2人100.0%）
- ・車両単独が2人33.3%（うち前方不注意が2人100.0%）

○ 道路別：

- ・道道が3人50.0%（うち正面衝突が2人66.7%、人対車両が1人33.3%）
- ・国道が2人33.3%（うち車両単独が2人100.0%）
- ・市町村道が1人16.7%（うち人対車両が1人100.0%）

○ 地形・道路形状別：

- ・非市街地直線が4人66.7%（うち正面衝突が2人50.0%、人対車両、車両単独が各々1人25.0%）
- ・市街地交差点が2人33.3%（うち人対車両、車両単独が各々1人50.0%）

○ 発生時間別：

- ・10～12時が3人50.0%（うち正面衝突が2人66.7%、車両単独が1人33.3%）

○ 第一当事者年齢別：

- ・高齢運転者による死者が4人66.7%（うち正面衝突、車両単独が各々2人50.0%）
- ・40歳代運転者による死者が1人16.7%（うち人対車両が1人100.0%）
- ・60～64歳代運転者による死者が1人16.7%（うち人対車両が1人100.0%）

○ 第一当事者違反別：

- ・前方不注意が3人50.0%（うち車両単独が2人66.7%、人対車両が1人33.3%）
- ・過労運転による死者が2人33.3%（うち正面衝突が2人100.0%）

○ 死者年齢別：

- ・高齢者の死者が6人100.0%（うち人対車両、正面衝突、車両単独が各々2人33.3%）

○ シートベルト非着用者：

自動車（二輪を除く）乗車中の死者4人中、シートベルト非着用者は3人75.0%であり、その全員がシートベルトを着用していれば助かった可能性が高い。

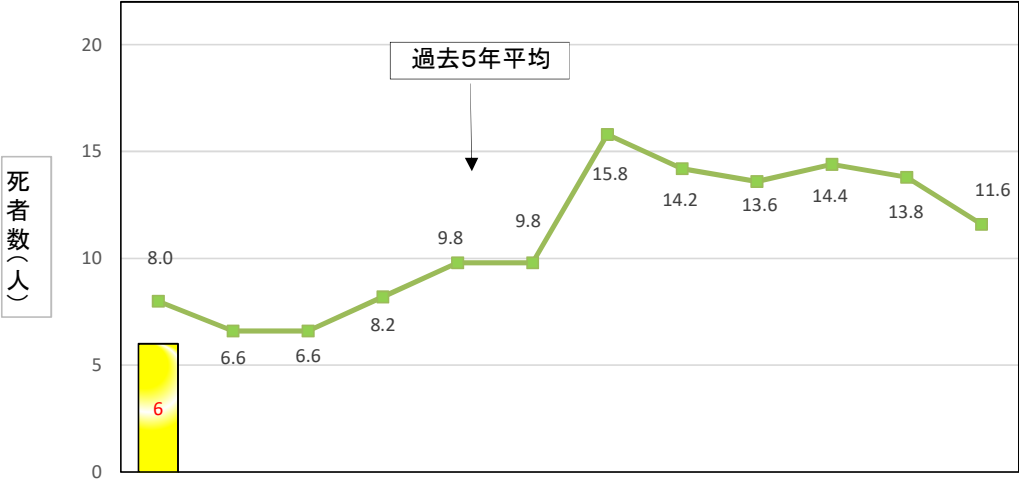
(2) 方面別発生状況

1月末の死者数は札幌方面、旭川方面、北見方面が各々2人(33.3%)となっている。

方面別\区分		発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
1月末	全 道	804	36	6	-7	977	64
	札幌方面	607	39	2	-7	754	77
	函館方面	46	3			49	
	旭川方面	74	15	2	-1	92	23
	釧路方面	68	-7		-1	72	-11
	北見方面	9	-14	2	2	10	-25

(3) 月別発生状況の推移

1月末の死者数は6人で過去5年平均8.0人を下回ってる。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和6年	6												6
年間累計	6												
過去5年平均	8.0	6.6	6.6	8.2	9.8	9.8	15.8	14.2	13.6	14.4	13.8	11.6	132.4
累計平均	8.0	14.6	21.2	29.4	39.2	49.0	64.8	79.0	92.6	107.0	120.8	132.4	

(4) 都道府県別死者数

1月末は兵庫県が16人で最も多く、次いで福岡県が13人、東京都が12人、愛媛県、愛知県、千葉県が各々10人で、北海道は、6人で12位となっている。

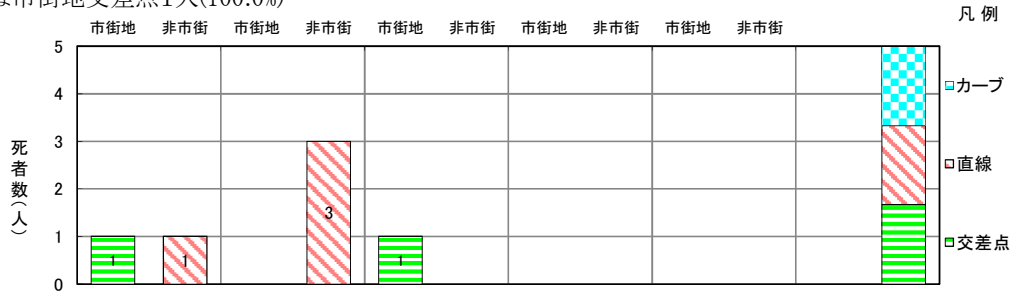
区分\都道府県	兵庫	福岡	東京	愛媛	愛知	千葉	福島	大阪	宮城	神奈川	全国	北海道
1月中死者数	16	13	12	10	10	10	9	9	8	7	220	6
ワースト順位	1	2	3	4	4	4	7	7	9	10	-	12
前年比	7	4	3	7	4	-5	2	-5	2	-4	3	-7
増減率(%)	77.8	44.4	33.3	233.3	66.7	-33.3	28.6	-35.7	33.3	-36.4	1.4	-53.8

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

道道が3人(50.0%)、次いで国道が2人(33.3%)、市町村道が1人(16.7%)となっている。

- ・道道は非市街地直線が3人(100.0%)
- ・国道は市街地交差点が1人(50.0%)、非市街地直線が1人(50.0%)
- ・市町村道は市街地交差点1人(100.0%)

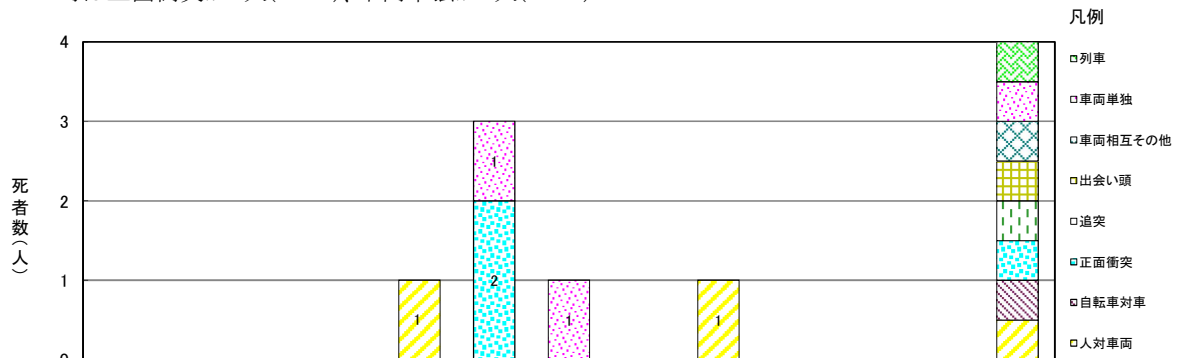


区分\道路別	国 道	道 道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死 者 数	2	3	1			6
構 成 率 (%)	33.3	50.0	16.7			100.0
過去5年構成率	36.6	39.0	19.5	2.4	2.4	100.0

(2) 時間別

10～12時が3人(50.0%)となっている。

- ・10～12時は正面衝突が2人(66.7%)、車両単独が1人(33.3%)

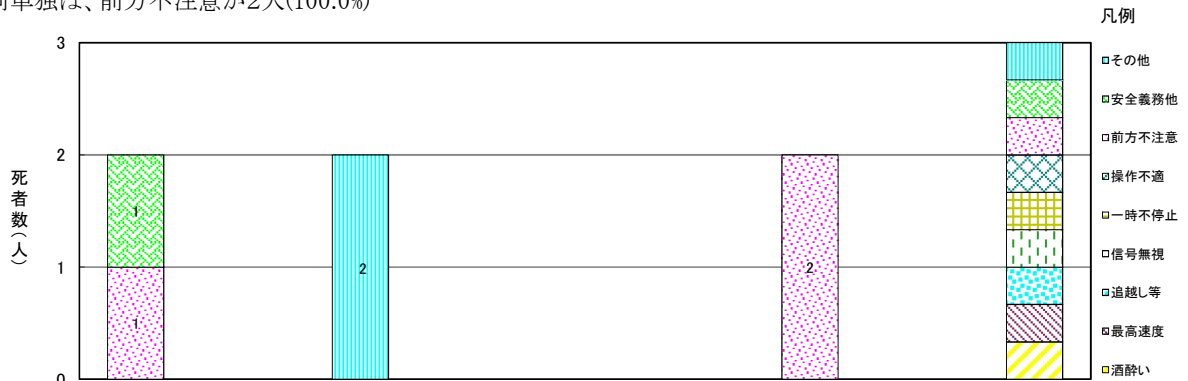


区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死 者 数					1	3	1		1				6
構 成 率 (%)					16.7	50.0	16.7		16.7				100.0
過去5年構成率	2.4	2.4	0.0	0.0	4.9	26.8	19.5	14.6	9.8	17.1	2.4	0.0	100.0

(3) 事故類型別

人対車両、正面衝突、車両単独が各々2人(33.3%)となっている。

- ・人対車両は、前方不注意、安義その他が各々1人(50.0%)
- ・正面衝突は、過労運転(その他に含まれる)によるものが2人(100.0%)
- ・車両単独は、前方不注意が2人(100.0%)



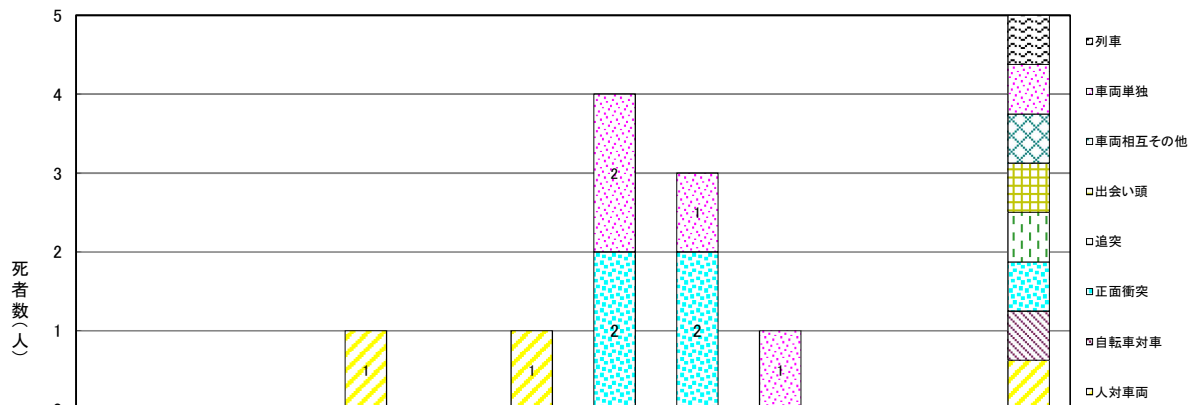
区分\事故類型別	人対車両	自転車対車	車 両 相 互	車 両 単 独	列 車	計
死 者 数	2		2	2		6
構 成 率 (%)	33.3		33.3	33.3		100.0
過去5年構成率	26.8	0.0	24.4	26.8	0.0	100.0

(4) 第一当事者の年齢層別

高齢運転者が4人(66.7%)、次いで40歳代、60～64歳の運転者が各々1人(16.7%)となっている。

- ・ 高齢運転者は、正面衝突、車両単独が各々2人(50.0%)
- ・ 40歳代の運転者は、人対車両が1人(100.0%)
- ・ 60～64歳の運転者は、人対車両が1人(100.0%)

凡例



区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65-69歳	70-74歳	75歳以上	歩行者等・不明	計
死者数	0	0	0	1	0	1	4	3	1	1	0	6
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	66.7	50.0	16.7	16.7	0.0	100.0
過去5年構成率	2.4	0.0	7.3	34.1	9.8	9.8	34.1	9.8	12.2	12.2	2.4	100.0

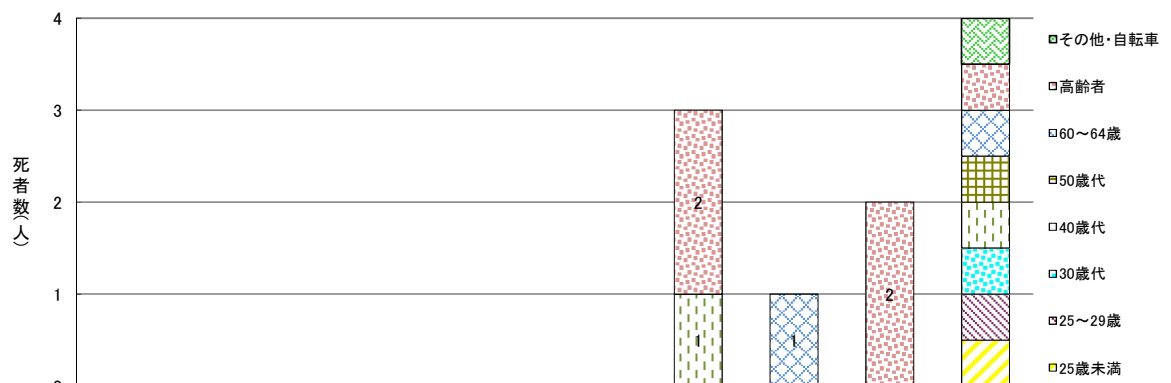
構成率は全死者に対する割合

(5) 第一当事者の違反(原因)別

前方不注意によるものが3人(50.0%)、次いでその他の違反(過労運転を含む)によるものが2人(33.3%)となっている。

- ・ 前方不注意は、高齢運転者による死者が2人(66.7%)、40歳代の運転者による死者が1人(33.3%)
- ・ その他の違反(過労運転を含む)は、高齢運転者による死者が2人(100.0%)

凡例



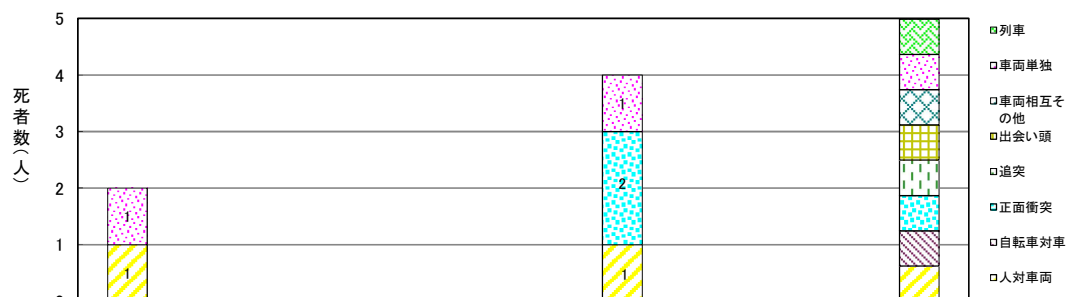
区分\原因別	酒酔い	最高速度	追越し等	信号無視	一時不停止	安全運転義務違反	その他	計
死者数	0	0	0	0	0	3	2	6
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	33.3	100.0
過去5年構成率	0.0	0.0	2.4	7.3	4.9	4.9	24.4	100.0

(6) 地形・道路形状別

非市街地直線が4人(66.7%)、次いで市街地交差点が2人(33.3%)となっている。

- ・ 非市街地直線は、正面衝突が2人(50.0%)、人対車両、車両単独が各々1人(25.0%)
- ・ 市街地交差点は、人対車両、車両単独が各々1人(50.0%)

凡例

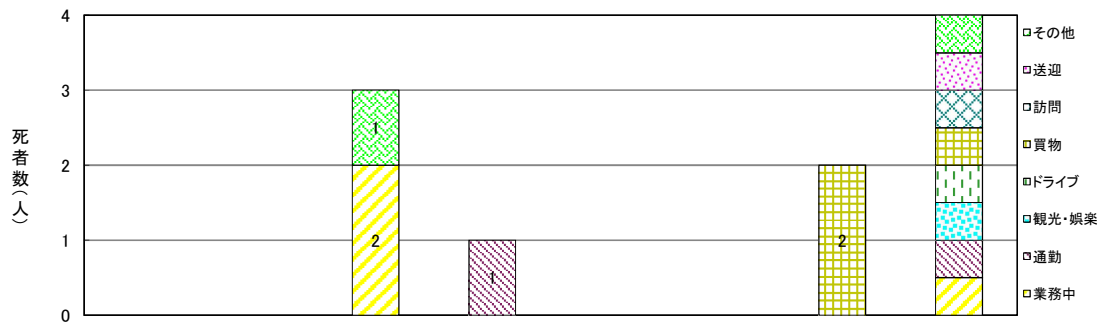


地形道路形状別	市街地	非市街地	計
死者数	2	4	6
構成率(%)	33.3	66.7	100.0
過去5年構成率	29.3	36.6	100.0

(7) 曜日別

- 火曜日が3人(50.0%)、土曜日が2人(33.3%)となっている。
- ・火曜日は、業務中が2人(66.7%)、通院が1人(33.3%)
 - ・土曜日は、買物が2人(100.0%)

凡例

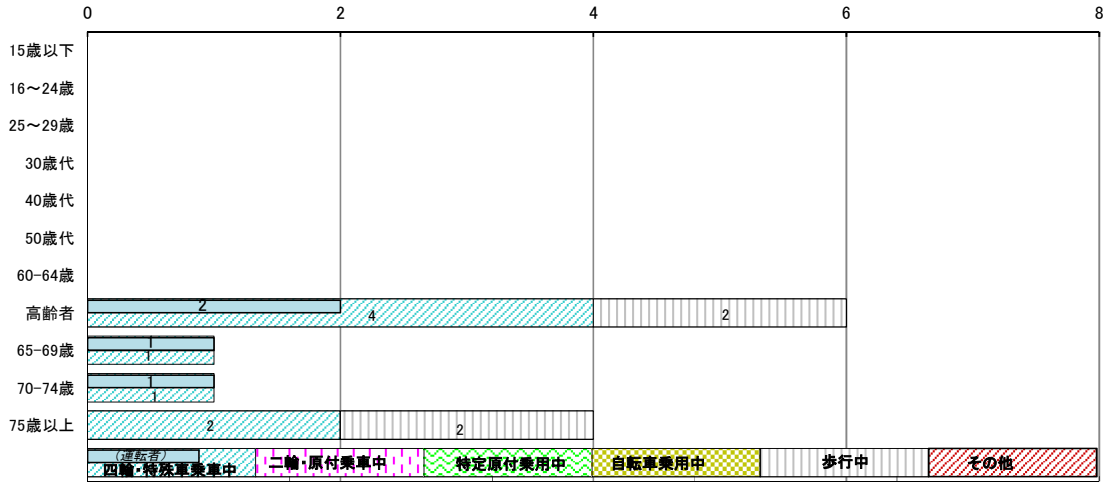


区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数			3	1			2	6
構成率(%)			50.0	16.7			33.3	100.0
過去5年構成率	9.8	7.3	22.0	9.8	17.1	17.1	17.1	100.0

(8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者の死者数が6人(100.0%)となっている。
四輪乗車中の死者数が4人(66.7%)、次いで歩行中の死者数が2人(33.3%)となっている。

死者数(人)



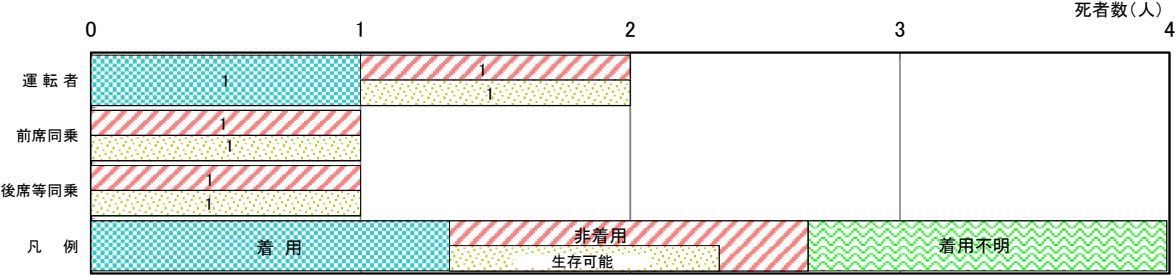
状態別 年齢層別		四輪乗車中 (特殊車を含む)	二輪乗車中 (一般原付を含む)	特定原付乗車中	自転車乗車中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
15歳以下	死者数									2.4
16～24歳	死者数									2.4
25～29歳	死者数									
30歳代	死者数									9.8
40歳代	死者数									9.8
50歳代	死者数									12.2
60～64歳	死者数									7.3
高齢者	死者数	4				2		6	100.0	56.1
65～69歳	死者数	1						1	16.7	9.8
70～74歳	死者数	1						1	16.7	12.2
75歳以上	死者数	2				2		4	66.7	34.1
計	死者数	4				2		6	100.0	
	構成率	66.7				33.3		100.0	—	—
	過去5年構成率	68.3				26.8	4.9	100.0	—	—

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者4人中、シートベルト非着用者は3人(75.0%)となっている。
非着用者の3人は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



状態別 区分	四輪乗車中等	着用			計	非着用			計	着用不明
		計	運転者	同乗者 助手席 後部席		運転者 生存可	同乗者(助手席) 生存可	同乗者(後部席) 生存可		
令和5年	4	1	1		3	1	1	1	3	1
構成率(%)	100.0	25.0	100.0		75.0	33.3	100.0	33.3	33.3	

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、75歳以上が2人(66.7%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
ヘルト着用							1		1			1
構成率(%)							100.0		100.0			100.0
ヘルト非着用							3	1		2		3
構成率(%)							100.0	33.3		66.7		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者3人の損傷加害部位をみると座席が2人(66.7%)、天井が1人(33.3%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明
ヘルト着用											1	
構成率(%)											100.0	
ヘルト非着用								1	2			
構成率(%)								33.3	66.7			
運転者								1				
構成率(%)								33.3				
同乗者									2			
構成率(%)									66.7			

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。

4 冬型交通死亡事故の発生状況(計上月基準)

冬型事故の令和4年度及び5年度(ここでは令和4年11月～令和6年1月)の計上は次のとおり。

年度区分		死 者 数					
		11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度	死亡事故	15	12	6			33
	冬型事故	3	1	2			6
	スリップ	3	1				4
	視界不良			2			2
	わだち						
	その他						
令和4年度	死亡事故	13	6	13	3	4	39
	冬型事故		4	3	2		9
	スリップ		4	1	2		7
	視界不良			2			2
	わだち						
	その他						